

第2回横浜市南スポーツセンター指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和8年8月10日（月）13時30分～17時00分
開催場所	南区役所1階多目的ホール
出席者	佐々委員長、徳富委員、伊東委員、宮本委員、八代委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	1 横浜市南スポーツセンターの指定管理者選定について
決定事項	指定候補者を「みなみスポーツ共創パートナーズ」、 次点候補者を「株式会社横浜ビー・コルセアーズ・公益財団法人横浜市スポーツ協会・野村不動産ライフ&スポーツ株式会社共同事業体」と決定。
議 事	1 選定委員会の進め方の確認について 審議の非公開について確認。 提案団体による提案説明の流れと質疑応答、意見交換の流れについて確認。 2 応募団体について （事務局）南スポーツセンターについて3団体から応募があったことを報告した。 また、公平な審査を行うため、面接審査時は団体名を伏せて審査を実施することを説明した。 （徳富委員）応募団体の財務状況について説明。直近の財務諸表等を確認した結果、各団体とも指定期間中の施設運営に支障を来すような大きな問題は見受けられないとの見解を示した。 （事務局）応募団体について、市税の滞納がないこと及び暴力団または暴力団経営支配法人に該当しないことを報告した。 3 審査について 提案説明後、質疑をおこなうことを事務局から説明。 4 提案団体の提案説明及び質疑応答 （1）横浜ビー・コルセアーズ・横浜市スポーツ協会・野村不動産ライフ&スポーツ共同事業会 ア 提案説明 イ 質疑応答 ＜委員＞ 協力会社として選定している企業について、既に関係がある企業で構成しており、競争性が確保されているのか。 ＜団体＞ 横浜市内での施設管理実績があり、共同事業体構成企業との連携実績もあることから、信頼できる協力会社として選定している ＜委員＞ 人件費について、今後の最低賃金上昇への対応をどのように考えているか。 ＜団体＞ 賃金スライド制度を考慮しており、対応可能と考えている。

<委員> 小中学校や地域への取組などについて詳しく教えてほしい

<団体> バスケットボールやチアダンス等の訪問事業の実績があり、校長会や園長会とも連携しながら積極的に実施したい。

<委員> 利用者増加に向けた広報の考え方を教えてほしい。

<団体> 広報よこはま等を活用した情報発信を重視している。

<委員> 年末年始の施設活用について教えてほしい。

<団体> 年末年始には親子向け事業等楽しい企画を実施したい。

<委員> 障害者スポーツへの取組について教えてほしい。

<団体> ボッチャをはじめ、障害の有無に関わらず利用しやすい環境づくりを進めたい。

<委員> 応募動機、地域との関わり、特色ある取組及び自主事業収入の考え方について教えてほしい。

<団体> 各構成団体の強みを生かしたプロスポーツチームのエンターテインメント性や民間のジムの施設運営経験により南区へ貢献したいと考えている。自主事業については、自動販売機や物販事業等により実現可能な計画である。

(2) 横浜南スポーツプロモーション JV

ア 提案説明

イ 質疑応答

<委員> 応募理由及び教室事業収入の見込みについて教えてほしい。

<団体> 横浜市におけるスポーツ振興に貢献したいと考え応募した。また、利用者数の増加に向けて広報を強化し、教室参加者の拡大を図りたい。広報については、SNS や動画配信等のデジタル媒体に加え、ポスティングなども活用する。

<委員> 高齢化が進む地域特性を踏まえた取組や、子ども向け事業について聞きたい。

<団体> 地域施設への出張事業や学校との連携を進めたいと考えている。また、水泳事業等のノウハウを生かし、学校へ出向いたスポーツ指導についても実施していきたい。

<委員> 利用者数年間 433,000 人の目標は可能か。

<団体> 利用者数目標はコロナ禍前の実績等を踏まえ設定しており、広報活動の強化により達成可能であると考えている。

<委員> 類似施設ではコロナ禍後に比較的早期に利用者数が回復している例も見受けられる。南スポーツセンターについては、コロナ禍以外の要因もあるのではないかと考えるが、その点についてどのように分析しているか。

<団体> 空調設備の設置による利用環境の向上に加え、広報の強化により利用者増加を図りたい。

<委員> 地域もデジタル化を進めているが、地域住民への周知方法についてまだポスティングも実施してほしい。

<団体> 予算をみながら範囲を決めて実施したい。

<委員> 地域住民の採用について地域を熟知する人を発掘することはかなり難しいのではないかな。

<団体> 現在のスタッフの継続雇用を考えている。また面接時にはヒアリングも実施する。

<委員> お客様からのクレーム対応も重要であるが、カスハラの問題にはどのように対応していくか。

<団体> 掲示等を実施し、従業員を守る取組を行う。

<委員> 自主事業について教えてほしい。

<団体> 年末年始イベントや飲食イベント等により自主事業収入の確保を図りたい。

(3) みなみスポーツ共創パートナーズ

ア 提案説明

イ 質疑応答

<委員> 現指定期間において実現できなかった点と、課題と感じた点を教えてほしい。

<団体> 施設の認知度向上が課題であると認識している。建物外観からスポーツセンターと分かりにくいこともあり、次期指定期間では広報を専門とする構成企業を加え、情報発信の強化を図りたいと考えている。また、夜間利用時間の延長についても検討したが、周辺住民から意見があり実施には至らなかった。地域への影響が想定される取組については、樹木伐採時の事前周知など、地域住民との丁寧な調整を行いながら進めている。

<委員> 小学校との連携事業や、これまでの運営を通じて培った利用者対応のノウハウについて教えてほしい。

<団体> 子どもの居場所づくりとして、研修室を活用した「宿題がんばるタイム」を実施し、保護者を待つ時間に利用できる環境を提供している。また、地元企業と連携した教室事業の実施や、職員が学校へ出向く取組も行っている。

<委員> すべての年齢層に対応した内容となっており、スポーツ以外ではカラオケ、エステ、健康マージャンが良いと感じた。シェアサイクルの導入も魅力的な取組だと思った。また、緊急時シミュレーションも非常に有意義で、日頃からの訓練の重要性を改めて認識した。

<団体> 今後はスポーツに限らず、幅広い分野の取組についても提案していきたい。

<委員> デジタル回数券には割引があるか？

<団体> 回数券のため割引が適用されている。

- <委員> 提案書に記載のあるパートナーとの現時点での連携について聞きたい。信頼関係の強化についても具体的な方策を教えてほしい。
- <団体> 信頼関係の強化は日常的なコミュニケーションに尽きると考えている。
- <委員> 区のスポーツ振興における中核的な拠点としての役割について、どのような取組を考えているか。
- <団体> 新たな構成企業の広報に関するノウハウを活用し、これまで以上に情報発信力を強化することで、区民に広く施設を周知し、スポーツ振興の拠点としての役割を果たしていきたい。
- <委員> 利用者数の増加について、他施設と比較した際の要因分析及び対応策について教えてほしい。
- <団体> 利用者ニーズの高い教室や事業を積極的に実施し、利用者の増加につなげていきたい。
- <委員> 新たに参画する構成企業の具体的な役割について教えてほしい。
- <団体> 地域情報の発信や施設独自の SNS 運用を担うほか、地元の著名人や地域ネットワークとのつながりを生かし、施設の認知度向上及び利用促進につなげていく。

5 総評

- ・ 施設運営に関する実績やノウハウを有している団体が見られ、これまで培った経験を活かした安定的な運営が期待できる提案であった。
- ・ 施設が区のスポーツ振興の中核的な拠点であることや、複合施設として多様な利用者・機能を有していることを十分に理解し、地域特性を踏まえた事業や利用者サービスの向上を意識した提案は評価できる。
- ・ 広報や情報発信についても工夫が見られ、施設利用の促進や新たな利用者の獲得につながる取組が提案されていた。
- ・ 一部の提案については、施設運営の方向性や独自性が十分に伝わらないものや、提案資料の記載内容及び確認体制に改善の余地が見られた。
- ・ また、地域との連携体制や施設運営経験、組織内における情報共有体制について、さらなる充実を期待したい。

6 審査結果

委員 5 名の合計により、指定管理候補者には得点 457 点の「みなみスポーツ共創パートナーズ」が、次点候補者には得点 445 点の「株式会社横浜ビー・コルセアーズ・公益財団法人横浜市スポーツ協会・野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社共同事業体」が決定。

7 その他

- ・ 選定結果は区長へ報告。議事録は委員長と調整し、作成の上、ホームページに掲載。

	・12月市会に上程し、議案可決後、正式に決定。
資 料 ・ 特記事項	1 資料 （1）提案資料 （2）評点表 2 特記事項 なし